

Novell SUSE[®] Linux Enterprise Desktop 10

SP 1

www.novell.com

2007 年 3 月

クイックスタート

SUSE Linux Enterprise Desktop へようこそ

新しいバージョンの SUSE[®] Linux[®] Enterprise Desktop 10 SP1 をインストールする、または SUSE Linux Enterprise Desktop 10 システムを SUSE Linux Enterprise Desktop 10 SP1 にアップデートする場合は、以下の手順に従ってください。

- ◆ 1 ページの「システム要件」
- ◆ 1 ページの「SUSE Linux Enterprise Desktop のインストール」
- ◆ 6 ページの「SUSE Linux Enterprise Desktop のアップデート」

インストールと導入戦略に関する詳細は、『[SUSE Linux Enterprise Desktop Deployment Guide](http://www.novell.com/documentation/sled10/pdfdoc/sled10_deployment/sled10_deployment.pdf) (http://www.novell.com/documentation/sled10/pdfdoc/sled10_deployment/sled10_deployment.pdf)』を参照してください。

システム要件

- ☒ パーソナルコンピュータ、プロセッサの容量 Pentium[®] iii 500Mhz 以上 (Pentium 4 2.4GHz 以上、または Intel[®]EM64T プロセッサの AMD64 を推奨)
- ☒ 物理 RAM、256MB(512MB を推奨)
- ☒ 使用可能ディスク領域 - 800MB(2.5GB を推奨)
- ☒ ディスク解像度 - 800x600 (1024x768 以上を推奨)

SUSE LINUX ENTERPRISE DESKTOP のインストール

マシンに Linux システムをインストールしていない場合、または既存の Linux システムを入れ替いたい場合、これらの手順を使用します。SLED 10 システムの SLED 10 SP1 へのアップデートの詳細は、6 ページの「SUSE Linux Enterprise Desktop のアップデート」を参照してください。

- 1 SUSE linux Enterprise Desktop SP1 の CD1 または DVD をドライブに挿入し、コンピュータをリブートして、インストールプログラムを起動します。

Novell[®]

2 ブート画面で [インストール] を選択して、Enter キーを押します。

これで、SUSE Linux Enterprise Desktop のインストールプログラムがロードされ、通常モードでインストールが開始します。また、次のオプションから選択することもできます。

- ◆ ハードディスクからブート：ハードドライブにインストール済みのシステムからブートします (通常マシンの起動時にブートされるシステム)。
- ◆ インストール — **ACPI** 無効：通常のインストールが失敗する場合、システムのハードウェアが ACPI (advanced configuration and power interface) をサポートしないことが原因である可能性があります。ACPI が原因と考えられる場合は、このオプションを使用し、ACPI のサポートを省略してインストールします。
- ◆ インストール — ローカル **APIC** 無効：通常のインストールが失敗する場合、システムのハードウェアが Advanced Programmable Interrupt Controller (APIC) をサポートしないことが原因である可能性があります。これに該当する場合は、このオプションを使用して、ローカル APIC サポートなしでインストールしてください。
- ◆ インストール — セーフ設定：システムを DMA モード (CD-ROM ドライブ用) でブートし、干渉する電源管理機能は無効になります。上級者はコマンドラインを使用して、カーネルのパラメータを入力、変更することもできます。
- ◆ レスキューシステム：インストールした Linux システムをブートできない場合は、このオプションを使用して CD からコンピュータをブートすることができます。グラフィカルユーザーインターフェースのない最小限の Linux システムを起動します。これにより、インストールしたシステムのトラブルシューティングと修復に使用するディスクパーティションにアクセスできます。
- ◆ メモリテスト：読み取りと書き込みサイクルを繰り返して、システムの RAM をテストします。メモリが散在的に破損することが多く、それを検出するために多くの読み取りと書き込みサイクルが必要になるので、このテストはエンドレスループで実行されます。RAM が破損していると思われる場合は、このテストを数時間実行してください。長時間実行してエラーが検出されない場合は、メモリは完全な状態であることがわかります。システムをリブートするとテストが終了します。

3 インストール時、およびインストールしたシステムに使用する言語を選択し、[次へ] をクリックします。

4 ライセンス契約書を読み、[同意します] をクリックして、[次へ] をクリックします。

5 [新規インストール] を選択して、[次へ] をクリックします。

6 システムで使用する時計とタイムゾーンを選択して、[次へ] をクリックします。

7 検出されたハードウェアと提案されたインストールとパーティションのオプションの数をインストール設定画面に表示し、任意のオプションを選択します。

[概要] タブには (一般的なインストール状況のほとんどにおいて) 時々手動介入が必要なオプションが含まれています。[エキスパート] タブには特殊なオプションが含まれており、以下で説明します。

重要: ソフトウェアの選択項目をまったく変更しない場合は、GNOME がデフォルトのデスクトップ環境としてインストールされます。KDE をインストールするには、[ソフトウェア] をクリックして、[KDE] を選択します。使用可能ディスク領域に応じて、GNOME と KDE デスクトップの両方をインストールする選択もできます。

これらのダイアログで提示されている項目のいずれかを変更すると、常にインストール設定ウィンドウに戻ります。この画面の内容は、設定に応じて常に更新されます。

- ◆ システム: システムのハードウェアを検出し、その結果をフロッピーまたはファイルに保存します。
- ◆ キーボード配列: 既存のキーボード配列を変更できます。デフォルトでは、この配列は選択言語に対応します。
- ◆ パーティション: パーティションをカスタマイズできます。SUSE Linux Enterprise Desktop はほとんどの場合、変更なしに受け入れることができる、適切なパーティショニングスキーマを提案します。

パーティションオプションの詳細は、『[SUSE Linux Enterprise Desktop Deployment Guide \(http://www.novell.com/documentation/sled10/pdfdoc/sled10_deployment/sled10_deployment.pdf\)](http://www.novell.com/documentation/sled10/pdfdoc/sled10_deployment/sled10_deployment.pdf)』の「3.7.1: Partitioning(パーティション分割)」を参照してください。

- ◆ アドオン製品: このオプションを使用すると、別のメディアソースから他の製品をインストールすることができます。CD、DVD、またはローカルディレクトリなど、さまざまな種類の製品メディアを選択できます。また、.ISO ファイルで直接作業することもできます ([ローカルディレクトリ] > [ISO Image] を選択)。
- ◆ ソフトウェア: SUSE Linux Enterprise Desktop では、さまざまなインストールスコープを備えた複数のタイプのソフトウェアパッケージを用意しています。このオプションを使用して、選択したデスクトップ環境の変更、パッケージとフィルタの追加または削除を実行します。
- ◆ ブート: インストール中、SUSE Linux Enterprise Desktop により、システムのブート設定が提案されます。通常これらの設定はそのまま変更せずに使用しますが、カスタムセットアップが必要な場合はこのオプションを使用することができます。

特別なブートフロッピーを使用したブートメカニズムを設定することもできます。ブート時には、常にそのブートフロッピーをドライブに挿入しておかなければならないという欠点がありますが、既存のブートメカニズムをそのまま活用できるという利点もあります。YaST は既存のオペレーティングシステムもブートするようブートローダーを設定できるので、このオプションは通常不要です。

また、ブート設定を使用してハードディスク上のブートメカニズムの場所を変更することもできます。

詳細は、『*SUSE Linux Enterprise Desktop Deployment Guide* (http://www.novell.com/documentation/sled10/pdfdoc/sled10_deployment/sled10_deployment.pdf)』の「17.3: Configuring the Boot Loader with YaST(YaST を使ったブートローダの設定)」を参照してください。

- ◆ タイムゾーン：タイムゾーンを選択できます。また、ハードウェアクロックをローカルタイムまたは UTC に設定することもできます。ハードウェアクロックを UTC に設定に設定すると、標準時間と夏時間への切替えは SUSE Linux Enterprise Desktop が自動的に行います。2つのブートメカニズムを使用している場合は、クロックをローカルタイムに設定します。
- ◆ 言語：「**2 ページのステップ 3**」で選択した言語を変更できます。また、ログイン時の言語を変更することもできます。
- ◆ デフォルトのランレベル：ブート後にシステムをどのように起動するか定義することができます。デフォルトのランレベル 5 を使用：ネットワークと Xdm を使用するフルマルチユーザ (グラフィカルインターフェースで直接ログインするようプロンプトされます)。システム管理者から指示されない限り、ランレベルを変更しないでください。

8 使用許諾契約を受諾する場合は、[了解] をクリックします。

「**ステップ 7**」でデフォルトのソフトウェア選択項目を変更した場合は、[続行] をクリックしてソフトウェアの依存関係を調整しなければならないこともあります。

9 インストール設定が終了したら、[Accept] をクリックします。

10 インストールを開始するには、[インストール] をクリックします。

選択したすべてのソフトウェアパッケージの基本のシステムセットアップとインストールを完了すると、SUSE Linux Enterprise Desktop インストールは新しい Linux システムをブートします。ここまで完了した後、ユーザーの作成、ハードウェアおよびシステムサービスの設定に移ります。

CD からインストールしている場合、リブート中は CD-ROM ドライブに CD1 を挿入したままにして、いずれのインストールオプションも選択しないでください。リブートの終了後、インストール処理が続行され、他の CD をインストールするよう要求されます。

11 システム管理者 (root ユーザまたは root と呼ぶ) のアカウントのパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

システムでの特定の作業によって、パーミッションを持っていたり、持っていない場合のある一般ユーザと異なり、root にはシステム設定絵の変更、プログラムのインストール、新規ハードウェアのセットアップ、およびユーザパスワードの変更を含め、あらゆることを行うための権利が無制限で付与されています。root アカウントは、システム管理、メン

テナンス、修復のみに限って使用するのが妥当です。日常的な作業のために root でログインすると、ただ 1 度のミスが、多くのシステムファイルの損失を招き、回復不能な障害につながる可能性があるため、リスクが高まります。

root パスワードは忘れないようにしてください。ここで入力すると、このパスワードを取得することはできません。管理上の支援を受けない限り、リセットできません。

- 12 このコンピュータの名前とコンピュータが属する DNS ドメインを入力して、[次へ] をクリックします。

- 13 ネットワーク設定画面で、システムのネットワーク接続を表示または変更し、[次へ] をクリックします。

ネットワークデバイス (ネットワークカードまたはワイヤレスカード、DSL 接続、ISDN アダプタ、またはモデムなど) を持っている場合は、インターネット接続により SUSE Linux Enterprise Desktop は使用可能なあらゆるアップデートを取得してインストールに加えることができるので、それらをここで設定することを推奨します。

ネットワーク設定を実行しない場合は、[設定をスキップする] > [次へ] の順にクリックします。

- 14 インターネット接続をテストするには、[インターネットへの接続をテストする] をクリックしてから、[次へ] をクリックします。

このオプションでは最新の SUSE Linux Enterprise Desktop のリリースノートがないか調べられることもできます。この時点で接続をテストしない場合 (または更新されたリリースノートをチェックする場合は、[*No, Skip This Test* (いいえ、このテストをスキップする)] をクリックした後 [次へ] をクリックし、次に「**ステップ 17**」から作業を続行します。

- 15 Running internet Connection Test(インターネット接続テストの実行) 画面で、テストの結果を参照してから、[次へ] をクリックして続行します。

- 16 Novell カスタマセンタの設定画面で、[今すぐ設定] > [次へ] > [続行] の順にクリックすると、システムにオンラインアップデートが有効になります。

[Configure Later(後で設定)]>[次へ] をクリックしてこのステップをスキップし、インストールを続行します。製品のインストール後にこのオプションを設定することができます。

- 17 ユーザ認証方法画面で、システム管理者に別な選択を指示されない限り [ローカル (/etc/passwd)] を選択し、[次へ] をクリックします。

- 18 ユーザアカウントを作成するには、[User' s Full Name(ユーザのフルネーム)] フィールドに自分の姓名を入力し、[ユーザ名] フィールドにユーザ名を、[パスワードフィールド] に (システム管理者が推奨したとおりの) パスワードを入力します。

セキュリティ上の理由から、パスワードは 8 文字の長さとし、大文字、小文字、数字を組み合わせなければなりません。パスワードは最長 72 文字とし、大文字小文字を区別します。

19 [次へ] をクリックしてユーザー認証セットアップを完了し、システム設定を開始します。

20 システム設定が完了したら、リリースノートを参照し、[次へ] をクリックしてください。

21 Hardware Configuration(ハードウェアの設定) 画面を使って、グラフィックカードとその他のハードウェアデバイスを表示または設定し、[次へ] をクリックします。

各コンポーネントをクリックして、その設定を開始します。多くの場合、デバイスは SUSE Linux Enterprise Desktop インストールにより、自動的に検出され、設定されます。

すぐにこのアクションを実行したくない場合は、[Skip Configuration(設定をスキップする)] > [次へ] の順にクリックします。これらの項目は後で設定できますが、今すぐにグラフィックカードを設定することを推奨します。SUSE Linux Enterprise Desktop が自動設定したディスプレイの設定は、通常、適用して問題ありません。ただし、解像度、色深度、その他のグラフィック機能の設定については好みが変わる点でもあるため、設定はユーザーごとにまったく異なることがあります。詳細は、『[SUSE Linux Enterprise Desktop Deployment Guide \(http://www.novell.com/documentation/sled10/pdfdoc/sled10_deployment/sled10_deployment.pdf\)](http://www.novell.com/documentation/sled10/pdfdoc/sled10_deployment/sled10_deployment.pdf)』の「7.13: SaX2」を参照してください。

22 Installation Completed(インストールが完了しました) 画面で、[完了] クリックすると、SUSE Linux Enterprise Desktop インストールが終了し、続いて、ログイン画面が表示されます。

23 [ユーザ名] フィールドにユーザ名を入力して、Enter キーを押します。

24 [パスワード] フィールドにパスワードを入力して、Enter キーを押します。

SUSE LINUX ENTERPRISE DESKTOP のアップデート

SUSE Linux Enterprise Desktop 10 システムを SUSE Linux Enterprise Desktop 10 SP1 にアップデートするには、以下の手順に従ってください。既存のシステム的环境設定は、できる限り保持されます。

- 1 SUSE Linux Enterprise Desktop 10 SP1 CD 1 または DVD をドライブに挿入し、コンピュータをリブートして、インストールプログラムを起動します。
- 2 ブート画面で [インストール] を選択して、Enter キーを押します。
- 3 インストール時、およびインストールしたシステムに使用する言語を選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 ライセンス契約書を読み、[同意します] をクリックして、[次へ] をクリックし、インストールを続行します。
- 5 [アップデート] を選択して、[次へ] をクリックします。
- 6 アップデートするパーティションまたはシステムを選択して、[次へ] をクリックします。
- 7 インストール設定画面で、必要に応じて設定を調整します。

一般的には、デフォルト設定は変更なしで問題ありませんが、システムを拡張しようとする場合は、[アップデートオプション] サブメニューの中にあるパッケージを選択するか、追加の言語向けのサポートを追加します。

さまざまなシステムコンポーネントのバックアップを作成することもできます。バックアップを選択すると、更新処理が低速化します。このオプションは、最近バックアップを作成していない場合に使用します。

- 8 インストール設定が終了したら、[Accept] をクリックします。

- 9 インストールを開始するには、[アップデートの開始] をクリックします。

選択したすべてのソフトウェアパッケージの基本のシステムセットアップとインストールを完了すると、SUSE Linux Enterprise Desktop インストールは更新された Linux システムをブートします。ここまで完了した後、ハードウェアおよびシステムサービスの設定を行うことができます。

CD からアップデートしている場合、リブート中は CD ROM ドライブに CD 1 を挿入したままにして、いずれのインストールオプションも選択しないでください。リブートの終了後、インストールは続行し、他の CD を挿入するよう要求されます。

- 10 インターネット接続をテストするには、[インターネットへの接続をテストする] > [次へ] をクリックします。

このオプションでは最新の SUSE Linux Enterprise Desktop のリリースノートがないか調べることができます。この時点で接続をテストしない場合 (または更新されたリリースノートをチェックする場合) は、[No, Skip This Test(いいえ、このテストをスキップする)] および [次へ] をクリックし、次に「**ステップ 13**」から作業を続行します。

- 11 Running internet Connection Test(インターネット接続テストの実行) 画面で、テストの結果を参照してから、[次へ] をクリックして続行します。

- 12 Novell カスタマセンタの設定画面で、[今すぐ設定] > [次へ] の順にクリックすると、システムのオンラインアップデートが有効になります。

[Configure Later(後で設定)]>[次へ] をクリックしてこのステップをスキップし、インストールを続行します。製品のインストール後にこのオプションを設定することができます。

- 13 システム設定が完了したら、リリースノートを参照し、[次へ] をクリックしてください。

- 14 Installation Completed(インストールが完了しました) 画面で、[完了] をクリックすると、SUSE Linux Enterprise Desktop インストールが終了し、続いて、ログイン画面が表示されます。

- 15 [ユーザ名] フィールドにユーザ名を入力して、Enter キーを押します。

- 16 [パスワード] フィールドにパスワードを入力して、Enter キーを押します。

SUSE LINUX ENTERPRISE DESKTOP の設定

SUSE Linux Enterprise Desktop の使用と設定に関する詳細は、『*SUSE Linux Enterprise Desktop 10 GNOME User Guide* (http://www.novell.com/documentation/sled10/userguide_gnome/data/bktitle.html)』と『*SUSE Linux Enterprise Desktop 10 KDE User Guide* (http://www.novell.com/documentation/sled10/pdfdoc/userguide_kde/userguide_kde.pdf)』を参照してください。

保証と著作権

Copyright © 2007 Novell, Inc. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、出版社の書面による許可なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、転送を行ってはいけません。Novell の商標一覧については、『*商標とサービスの一覧* (<http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html>)』を参照してください。すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に所属します。商標記号 ((R)、TM など) は、Novell の商標を示し、アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。